(3)　平成24年度当初予算案のポイント

少子高齢化・人口減少という宇陀市の厳しい現実を踏まえ、「夢ある未来、まちづくりが進んでいることを実感できる予算」という基本方針を立て、限られた財源の中から、宇陀市の活性化と政策課題解決に向けて、効果的かつ効率的に投資することをめざしました。

◎一定期間継続できる宇陀市の地域経済の活性化策と、観光振興、まちづくりに重点を置いた新規施策を創設しています。

◎市民生活の安全安心確保のため、

①耐震基準以前に建築された小中学校校舎・体育館等の耐震診断を終えたことから、順次設計・工事に着手します。

②道路の整備改良・補修事業、橋梁の安全点検を進めます。

③水道給水区域の拡張を着実に進め、生活基盤整備事業やまちづくり整備事業のための調査・計画策定費等を計上しています。

◎財政健全化の取組みを引き続き推進し、人件費・公債費（市債の償還金）の縮減、扶助費の抑制により、経常的経費は対前年度予算と比較して△1.8％となりました。

これらの結果、平成24年度一般会計当初予算は、市立病院建設（対前年度比2.4億円の事業費増）、大宇陀小学校建設（同2.2億円の増）、都市計画道路東町西峠線、ワールドメイプルパーク整備事業等がそれぞれ完成するという、待望の年度を迎える中で、予算総額は対前年度比↑3.2億円の増に抑制し、181億7千万円（同↑1.8％）の規模となりました。

【重点事業】

1．地域の元気創造プロジェクト

(1) まちづくり活動応援補助金の活用　2,855 千円

市民が主体的に参加する協働によるまちづくりを推進するため、ＮＰＯ、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動事業に助成します。【まちづくり支援課】

(2) まちづくり協議会の設立促進　14,364 千円（新）

地域コミュニティの充実・強化を図り、地域が主体となって身近な課題を解決できる組織の創設、育成に取り組みます。【まちづくり支援課】

①まちづくり協議会設立に向けての講演会の開催	334 千円（新）
②まちづくり協議会設立検討会補助金	2,000 千円（〃）
③いきいき地域づくり補助金	5,000 千円（〃）
④地域支援員の設置	6,480 千円（〃）
⑤まちづくり協議会準備委員会開催経費	69 千円

(3) 宇陀市空き家情報バンクの活用　81 千円

市内の空き家情報の収集や周知に市がかかわることで、空き家の有効活用と市外から宇陀市への定住を促進します。【まちづくり支援課】

(4) 定住促進奨励事業の拡充　4,000 千円

市外からのＩターン・Ｊターン・Ｕターン者の転入促進と、市民の転出を抑制し定住化を図るとともに自治会加入促進により活力ある地域づくりを支援するため、住宅取得した者が一定の要件を満たす場合、定住促進奨励金を交付します。又、親等と同居するために住宅取得する場合も制度を適用します。【まちづくり支援課】

(5) 結婚支援事業　300 千円

晩婚化・未婚化が進む中、独身男女の出会いの場を設けることにより、結婚を応援します。又、市全体で結婚を支援する機運を高めます。【まちづくり支援課】

2. 子ども未来応援プロジェクト

(1) 子ども支援課を創設します。

子育てに関する市役所の窓口を一元化し、幼保一体化施策による保育と幼児教育の推進を図り、子どもに関する施策について関係部署と連携をとり、総合的に計画を推進します。【子ども支援課】

(2) 子ども達の中学卒業までの入院医療費を無料化　31,662 千円

宇陀市独自の施策として、中学校卒業までの児童生徒の入院医療費を全額助成しています。【保険年金課】

(3) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃 4,548 千円

宇陀市独自の施策として、所得制限を撤廃しています。【保険年金課】

①乳幼児医療費助成事業　1,092 千円（市加算分）

②ひとり親家庭医療費助成事業　3,456 千円（　〃　）

(4) 子ども達の就園就学の経済的支援　21,202 千円

一定の所得水準に達しない世帯等に対し幼稚園・小・中学校の就園修学援助を、宇陀市独自の施策として「宇陀市ぬくもり修学奨励費補助金（高校大学等）」を助成しています。【教育総務課】

①幼稚園保育料援助費　868 千円

②特別支援教育・要保護準要保護児童修学援助費（小学校）　9,087 千円

③特別支援教育・要保護準要保護児童修学援助費（中学校）　9,747 千円

④宇陀市ぬくもり修学奨励費補助金　1,500 千円

(5) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）　855 千円

生後 4 ヶ月までの乳児のいるすべての家庭に、助産師若しくは市の保健師が訪問し、育児や生活についての相談に応じています。【子ども支援課】

(6) 育児支援策の充実

①乳幼児等の健康診査

母子の健康増進及び乳児の健全育成を図るため、妊娠、育児及び乳幼児保健にかかわる保健サービスを提供しています。【健康増進課】

〇妊婦一般健康診査受診票の交付　　〇乳幼児健康診査

〇１歳６ヶ月児・３歳児健診　　〇２歳時歯科健康診査

②子ども達の予防接種への宇陀市独自の助成実施

全て任意接種ですが、自己負担を約１割に抑制しています。

【健康増進課】

〇子宮頸ガン予防ワクチン接種　　8,706 千円

〇ヒブワクチン接種　　6,442 千円

〇小児用肺炎球菌ワクチン接種　　8,134 千円

③育児支援教室の開催

育児知識の普及や保護者同士の交流を強めるため、「ひよこクラス」（育児教室）、「たまごクラス」（母親教室）、「カンガルー教室」等を開催しています。【健康増進課】

(7) ベビーシートレンタル事業　　407 千円

新生児から生後６ヶ月までの乳幼児を養育している方を対象に、自動車用ベビーシートを無料で貸し出しています。【子ども支援課】

(8) 子育て支援センター「すくすく」の充実　　4,113 千円

子育ての相談と情報の提供、助言その他の援助を行うことを目的に、乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所「すくすく」（旧菟田野保健センター）を常設するとともに、市内の幼稚園・保育園や公民館などで「つどいのひろば」を開催しています。

【子ども支援課】

(9) “こあら教室”を開設しています。　　2,237 千円

臨床心理士・保育士が発達障がい児の障がいの種類や程度に応じて、日常生活に

おける基本的生活習慣、集団生活への適応について指導するとともに、保護者の交流の場を設けています。【介護福祉課】

(10)“にこにこの部屋”を開設しています。　2,576 千円

夏休み中に引きこもりがちな障がい児の居場所づくりとして、“にこにこの部屋”を開設し、地域の活動や社会見学などに参加し、学校とは違う子ども同士のふれあいの場をつくります。【介護福祉課】

(11)室生こども園運動場の芝生化　1,600 千円(新)

低下傾向にあると言われている子ども達の体力の向上をめざすとともに、芝生を活用した多用な地域連携の施策を実施し、緑化による温暖化抑制の一助とします。【子ども支援課】

(12)児童養護施設支援事業　4,980 千円

宇陀市内にある児童養護施設大和育成園。ここで育つ子ども達のために宇陀市独自の支援を行っています。【子ども支援課】

(13)“夢の教室”（夢先生事業）　1,543 千円

各小学校に著名スポーツマンを講師に招き、相手を思いやる心やフェアプレー精神を伝えます。又、講師と子ども達が夢について話し合い、目標に向かって努力することの大切さを説き、健全な児童の育成を図ります。【教育総務課】

(14)“宇陀こどもフェスタ２０１２”開催費（実行委員会補助金）　600 千円

“つながれ心！ひろがれ笑顔”をスローガンに、遊びやスポーツ体験を通して子ども達の交流と仲間づくりを図ります。【生涯学習課】

(15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進　11,924 千円

①小中学生基礎学力向上事業（指導主事配置事業）　1,943 千円

市内小中学生の学力向上のため、学校現場への指導・相談を行える専門的教養と経験を有する人員を、宇陀市独自で配置しています。【教育総務課】

②小学校外国語活動指導助手設置事業　　2,199 千円

平成２３年度から開始された小学校５～６年生の外国語活動について、外国語活動をスムーズに導入できる助手を、宇陀市独自で設置しています。【教育総務課】

③適応指導教室“はばたき”（教育センター事業）の充実　　879 千円

不登校児童・生徒の自立を図り在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲向上を図っています。【教育総務課】

④教育相談（心理）事業　　1,244 千円

臨床心理士による教育相談業務を行っています。主として幼児、児童生徒の発達相談に応じ、心理的見地から保護者や教職員にアドバイスを行い、ニーズに応じて心理検査も行っています。【教育総務課】

⑤ほほえみ教室の開設（通級相談教室）　　4,423 千円

通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている児童・生徒と保護者が、専門員の指導相談を受ける教室を市内の代表校に設置しています。【教育総務課】

⑥子ども活動支援事業　　1,236 千円

学校の教育活動や環境整備、子ども達の安心安全な登下校の見守りへの支援を行う地域のボランティアやコーディネーターの活動の経費を補助しています。

【生涯学習課】

(16)教育施設の整備、耐震化の推進　　915,300 千円

①大宇陀小学校建設事業　　890,062 千円

老朽化した大宇陀小学校（校舎・体育館）を新築し、平成２５年４月の再編統合に向け、学習環境の整備を行います。【教育総務課】

②市内小中学校の耐震工事の推進　　25,238 千円（新）

耐震基準以前に建築された校舎等について、平成２３年度で市内小中学校の耐震診断を終えました。今年度は榛原小学校、大宇陀中学校の耐震工事の実施設計に着手します。宇陀市では平成２７年度までにすべての市内小中学校の耐震化を終える予定です。【教育総務課】

【その他の子育て支援予算】

○子どものための手当　442,460 千円

○出産祝い品贈呈事業　950 千円

3. 市民安心安全プロジェクト

暮らしの安心

(1) 地域公共交通の確保　31,063 千円

市営有償バス「大宇陀南部線」「榛原大野線」の運行、試行していた「デマンド型乗合タクシー」の本格運行を開始するとともに、路線バスへの運行費補助等により、市民の交通移動手段を確保しています。【企画課】

①大宇陀南部線	5,656 千円
②榛原大野線	5,295 千円
③デマンド型乗合タクシー	13,258 千円
④路線バス運行補助金（上内牧系統）	4,000 千円
⑤路線バス運行補助金（桜井菟田野線）	624 千円
⑥ほっとバス錦運営協議会補助金	500 千円
⑦過疎地有償運送事業補助金（らくらくバス）	1,730 千円

(2) 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実　416,000 千円

市民の命と健康を守る宇陀市立病院の新築、医療機器の更新を進めてきましたが、平成２５年春に全面完成します。一般会計からは、合併特例債（市債）を用いて費用の１／４を出資します。【健康増進課】

(3) がん予防対策等の推進　50,383 千円

①がん検診（子宮がん・乳がん・大腸がん）推進事業	
※節目年齢対象者無料クーポン事業	6,727 千円
②その他のがん検診の推進	20,361 千円

③高齢者インフルエンザ予防接種事業　　23,295 千円【健康増進課】

(4)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃

6,362 千円（市加算分）

奈良県の制度では、障害者本人や扶養義務者等の前年の所得が一定金額を超える場合は医療費助成の対象となりません。宇陀市では、独自の施策としてこの所得制限を撤廃しています。【保険年金課】

(5)“高齢者等サポート隊”モデル事業　　963 千円

高齢者等おしらせ隊に続き、見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り・安否確認・身近な支え合い活動を行うボランティアの行動組織として、高齢者等サポート隊を編成。社会福祉協議会を中心に、各地域にモデル地区を選定し実践活動を行います。【介護福祉課】

(6)高齢者等見守り支援事業（コールセンター方式）　　576 千円

見守りが必要な高齢者等に対し、緊急・相談通報装置を貸与することにより、２４時間体制でコールセンターにつながり、緊急通報や相談ができるシステム。

又、平時において安否確認（お元気コール）や健康相談を専門職員が対応する予定です。【介護福祉課：介護保険事業特別会計事業】

(7)高齢者等介護予防体操事業　　273 千円

要支援・要介護者数の増加に伴い、高齢者等の介護予防体操を創作。うだチャン１１による放映やいきいきサロンなど、自宅や集会所等の身近なところで介護予防体操を実施してもらい、介護給付費の抑制を図ります。【介護福祉課：　〃　】

暮らしの安全

(1)学校安心安全メール配信事業　523千円

各学校等（小中学校・保育所・幼稚園）から、不審者情報・学校行事・気象警報時の対応、インフルエンザ等必要な情報を保護者に配信しています。【教育総務課】

(2)防災・防犯情報等メール配信事業　391千円

①市民の生命財産を守るため、防災行政無縁を補完するものとして、宇陀市から携帯電話を通じて火災情報や災害予報、防犯情報等を配信しています。

市民の皆さまの登録をお願いします。【危機管理課】

「詳しい登録方法は、宇陀市ＨＰの【安全安心メール】をクリックしてください。」

ｈｔｔｐ:／／ｕｄａ．ｋｉｄｓ１１０．ｊｐ／ｃｅｌ／」

※登録は無料ですが、登録時やメール受信時の通信料は利用者の負担となります。

②災害時緊急速報「エリアメール」を導入しています。

宇陀市では、各携帯電話会社が配信するエリアメールを導入しています。市内の配信対象エリア内にいる携帯電話に対して、気象庁などからの情報や市からの災害緊急情報を無料で配信します。(対象会社：ＮＴＴドコモ・ソフトバンク・ａｕ)【危機管理課】

(3)宇陀市全域の防災行政無線を整備します。　6,000千円（新）

２３年度には「宇陀チャン１１」画面のＬ型緊急情報送出システムを導入しましたが、旧４町村の機器体制のままの防災行政無線について審議検討の結果を得て、全市一本化、デジタル化に向け実施設計を行ないます。【危機管理課】

(4)自主防災組織の設立を促進しています。　500千円

大規模災害発生時の共助の機能強化・充実と、平時の地域の自主的な防災活動促進のため、自主防災組織の結成を推進しています。【危機管理課】

(5)職員の対応訓練、市民の防災意識の啓発に努めます。　5,280千円(新)

東日本大震災では多数の市職員を救援に派遣しましたが、これらの経験を糧に宇陀市の災害対応の訓練を実施するとともに、市民の皆さまに防災グッズを配布し、普段の備えを啓発します。【危機管理課】

(6)土砂災害予防のため、山林の樹種の転換を進めます。　200千円(新)

災害復旧事業である治山工事を実施するにあたり、受益者と協議し土砂災害に強い樹種への転換を図ります。【農林課】

(7)防犯灯、交通安全施設の整備を進めます。　11,539千円

道路照明、防犯灯の整備更新をすすめ、ガードレールやカーブミラーの設置修繕、センターラインなどの路面標識を点検整備し、安全の向上に努めています。

【総務課・建設課】

①防犯灯設置事業補助金	456千円
②交通安全施設整備事業	6,000千円
③市道橋梁点検長寿命化計画策定事業	5,083千円

生活基盤の整備

(1)効果的な道路改良と補修の実施　　740,758 千円

地域が有する道路の課題に対して効果的な拡幅・開設事業を実施するとともに、安全性向上のための舗装修繕を行います。

【建設課、都市計画課、農林課】

①市道平井比布線舗装補修事業	31,000 千円
②都市計画道路東町西峠線道路新設改良事業	562,000 千円
③市道山辺三赤人橋線災害防除事業	25,375 千円（新）
④市道墨坂通り線測量設計業務	5,000 千円（新）
⑤市道小倉室生線舗装補修事業	41,300 千円
⑥市道小原小倉線道路改良事業	31,200 千円（新）
⑦市道舗装等維持補修事業	35,500 千円
⑧県営一般農道大野向渕線整備事業負担金	4,800 千円
⑨市道橋梁点検長寿命化計画策定事業	5,083 千円（再掲）

(2)水道給水区域を着実に拡大しています。　　340,300 千円

厳しい財政状況のなか、全戸給水をめざして給水区域の拡張事業を実施しています。また、整備済み地域での加入推進にも努めています。（一般会計から一部出資金又は繰出金）

①松井簡易水道整備事業	34,300 千円
②田原簡易水道整備事業	39,000 千円
③簡易水道大宇陀中央・東部統合整備事業	17,000 千円
④簡易水道室生地域県営水道受水施設整備事業	155,000 千円
⑤上水道高井配水池系整備事業	75,200 千円
⑥上水道玉立・赤瀬系整備事業	19,800 千円（新）

(3)下水道施設の維持補修を中心とした事業を実施します。　30,000 千円

社会経済情勢や市民生活の実情を踏まえ、本管整備済み区域の管路施設の維持補修を優先します。（一般会計から一部繰出金）

①天満台地区長寿命化布設管更新等業務　5,000 千円

②第２中継ポンプ場長寿命化計画策定業務　5,900 千円

③マンホールポンプ等新設・更新工事　17,300 千円

④管渠布設にかかる調査業務　1,800 千円

(4)地籍調査を推進します。　25,532 千円

市民及び公共の財産を保全するため、地籍の明確化を目的として地籍調査を進めています。２４年度は檜牧第２期地区の地籍調査（３.04Ｋ㎡：１～４期）に着手します。【地籍調査課】

(5)合併処理浄化槽の整備推進　31,480 千円

奈良県の水がめである室生ダムの水質保全のため、衛生的な生活環境促進のため、市民の皆さまが設置する合併処理浄化槽設置事業に補助金（例示：414,000 円／７人槽）を助成しています。今年度は予算額を拡充しています。【環境対策課】

①合併処理浄化槽整備事業補助金　31,480 千円

(6)循環型環境社会の推進　2,744 千円　【環境対策課】

①生ゴミ処理機等購入助成事業　800 千円

②集団資源（古紙）回収助成事業　1,944 千円

(7)地球環境に配慮した施策　2,158 千円(新)

①市庁舎において試験的にＬＥＤ化を進め、環境負荷と光熱費の削減に努めます。【管財課】　158 千円

②住宅用太陽光発電システム設置補助金【環境対策課】　2,000 千円（再掲）

○室生口大野駅前整備検討委員会費	206 千円
○都市計画マスタープラン策定費	3,000 千円
○その他測量調査費	8,000 千円

4. 産業振興観光振興プロジェクト

観光振興　宇陀市の歴史的文化的資産の活用

(1)“記紀・万葉”宇陀市プロジェクトの推進　5,300千円（新）

平成２４年は「古事記」編さんから１３００年、平成３２年は「日本書記」編纂から１３００年となります。宇陀市には“記紀・万葉”ゆかりの地が多くあり、奈良県事業と連携し、文化的な発信、観光客誘致に努めます。【関係各課】

①“宇陀市と記紀・万葉”展、講演会開催費　1,700千円（新）

②“記紀・万葉”宇陀市キャラクター、シール制作　1,000千円（新）

③“宇陀市の記紀・万葉”ルートマップ、観光ポスター等制作 1,400千円（新）

④“宇陀市と記紀・万葉”ＨＰ制作　800千円（新）

⑤“宇陀市と記紀・万葉”ウオーク開催経費　ほか

(2)歴史的・文化的資源の保存整備　89,354千円

大宇陀重伝建地区での整備事業や、国・県指定文化財、市指定文化財の保存修理など、宇陀市の歴史的・文化的資源の保存整備を進めています。【文化財課】

①宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存事業　34,118千円

②宇陀松山地区街なみ環境整備事業　33,995千円

③史跡宇陀松山城跡保存整備事業　13,320千円

④室生染田天神講連歌堂保存修理助成事業　2,533千円

⑤片岡家住宅所蔵文書調査事業　3,002千円（新）

⑥その他指定文化財保存修理等助成事業　2,386千円

(3)観光施設、観光資源の整備　113,316千円

①（仮称）ワールドメイプルパークの整備　　90,002 千円

平成２５年春のオープンをめざしています。1,200 種に及ぶカエデの育成・展示施設整備と、旧宇太小学校を再生利活用することによって、国宝宇太水分神社を含めた菟田野地域の観光・物販・まちづくり施設の拠点とします。【公園課】

〇メープルパーク施設整備事業費　　60,002 千円

〇宇陀市地域活性化推進拠点施設整備補助金　　30,000 千円

②天然記念物向淵スズラン群落再生事業　　10,004 千円

国指定天然記念物のスズラン自生の南限地帯である室生向渕の群落再生事業最終年にあたり、柵・見学路・説明板を設置します。【文化財課】

③観光施設整備事業　　3,300 千円

宇陀市を訪れる観光客に滞在時間が長く、環境にやさしいハイキングやサイクリング利用を推進し、安全に観光施設等を周遊するため、サイクリングロード道標の整備や観光案内板の整備等を進めます。【商工観光課】

④空き家再生等推進事業補助金　　10,000 千円（新）

国土交通省の補助金（空き家再生等推進事業）を活用し、宇陀市の中心に位置する旧伊那佐郵便局を保存修復することによって、観光案内地点、休憩施設の増設強化を図ります。【都市計画課】

⑤文化財ボランティア養成講座の開催　　12 千円

宇陀市を内外に紹介する専門的な知識を有する人材を育成するため、文化財ボランティア養成講座を開催しています。【文化財課】

宇陀市の地域経済活性化

予算額

(1)「ウッピー商品券」の発行　2,632 千円（新）

宇陀市内における購買活動の増進、内需振興の一助として、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行します。【商工観光課】

(2)住宅リフォーム促進奨励制度　3,000 千円（新）

市民の皆さまが所有し、居住されている一戸建て住宅を、市内建築業者によりリフォームされた場合、費用の１０％（上限１０万円）相当のウッピー商品券を交付します。【まちづくり支援課】

(3)宇陀市産木材利用促進助成制度　1,000 千円（新）

市内外を問わず、宇陀市産木材の使用建築に対し、宇陀市産材木代金の１／２（上限１０万円）相当のウッピー商品券を交付します。【農林課】

(4)住宅用太陽光発電システム設置補助金　2,000 千円（新）

宇陀市の環境対策推進と地球温暖化抑制のため、国の補助金制度に採択された事業に対して、事業費の１０％（上限１０万円）相当のウッピー商品券を交付します。【環境対策課】

(5)合併処理浄化槽設置事業補助金　31,480 千円（再掲）

河川の水質保存や衛生的な生活環境の促進につとめています。２４年度は大幅に予算を拡充しています。【環境対策課】

農林業･商工業の振興

(1)宇陀市農業支援基金事業　2,900千円

効果的な宇陀市独自の農業支援策を展開するため、市内の農耕用車両から徴収した軽自動車税の全額を基金として、下記の事業に充当しています。【農林課】

①農業用暗渠排水施設設置事業補助金　300千円

②農業用雨除けハウス新設事業補助金　2,000千円

③農地・農林業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金　600千円

(2)有害鳥獣対策を強力に推進します。　10,375千円

深刻な状況にある農林業に対する有害鳥獣の被害に対し、効果的な対策を推進していきます。【農林課】

①有害鳥獣駆除集落取組み事業補助金　880千円

②有害鳥駆除個体処分事業　1,350千円（新）

③有害鳥獣捕獲ライセンス取得補助金　660千円

④有害鳥獣防除施設設置事業補助金　3,000千円

⑤鳥獣被害対策実施隊員報酬　640千円

⑥有害鳥獣捕獲報償金　2,279千円

⑦県単有害鳥獣駆除事業補助金　400千円

⑧猟友会補助金　66千円

⑨宇陀名張地域鳥獣害防止広域対策事業

〇ﾓﾝｷｰﾄﾞｯｸﾞの育成・獣肉利用の推進ほかソフト事業　1,100千円

(3)宇陀市特産品等認定・開発補助事業　507千円

宇陀市の農林水産物等を特産物として認定します。又、宇陀市内で生産された農林水産物を活用した、魅力ある商品開発を補助します。【まちづくり支援課】

(4)商店街の街路灯更新事業　4,000千円（新）

都市計画道路東町西峠線を推進している榛原まちづくり交付金事業により、榛原駅

南側商店街の街路灯を更新します。　【都市計画課】

(5)宇陀市産業振興会議　312千円

宇陀市内における産業の振興を図るため、様々な角度から審議を行なってきましたが、本年夏に提言が出されます。【まちづくり支援課】

その他の農林業予算	
○中山間地域等農業者直接支払事業	43,481千円
○青年就農給付金	13,500千円（新）
○農業戸別所得補償制度事務費	5,406千円
○数量調整円滑化推進事業事務費	1,093千円
○水と農地活用促進（農業基盤整備）事業	6,151千円
○農地・水・環境保全地域協議会負担金	4,229千円
○宇陀市農産物品評会	196千円
○宇陀市産木材利用促進助成制度	1,000千円（新・再掲）
○森林環境税施業放置林整備事業	54,621千円
○美しい森林づくり基盤整備交付金事業	14,532千円
○森林整備地域活動支援事業	26,697千円
○奈良県産材生産促進事業	6,125千円
○宇陀市山林樹種転換推進事業補助金	200千円（新・再掲）
○農業振興地域整備計画策定事業	6,378千円（新）

5. 共に考え行動する「協働」プロジェクト

(1) まちづくり活動応援補助金の活用　　2,855 千円（再掲）

市民が主体的に参加する協働によるまちづくりを推進するため、ＮＰＯ、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動事業に助成します。【まちづくり支援課】

(2) まちづくり協議会の設立促進　　14,364 千円（再掲）

まちづくり協議会は、市民と行政が協働して地域の元気を創造します。

【まちづくり支援課】

(3) 各種審議会等の委員に市民公募、女性の参画を推進します。

総合計画審議会や宇陀市自主放送番組審議会、まちづくり活動応援補助金審査員など、市民公募を推進するとともに、女性の参画を推進します。【各所管課】

(4) 市民の声を市政運営に反映させる制度を充実します。

市政の課題や市民生活にかかわる計画等について、公募による委員やモニターの採用、パブリックコメント制度の導入等により、市民の市政参加を推進します。

【秘書広報情報課・各所管課】

(5) 市民との情報共有の充実

宇陀市ホームページのリニューアルにより、各部署において迅速できめ細かい情報の発信が可能となることから、「広報うだ」「うだチャン１１」を含め行政情報などの発信を充実し、市民と情報を共有することによって協働のまちづくりを進めます。

【秘書広報情報課】

(6) みんなでつくる総合計画後期基本計画　　3,519 千円

宇陀市総合計画の前期基本計画が平成２４年度で終了することから、後期基本計画（平成２５～２９年度）を策定します。【企画課】

“みらいの宇陀市”児童生徒絵画募集

“みんなでつくる総合計画”写真コンテスト

(7)市民との協働の推進（例示）

①宇陀市地域活性化推進拠点施設整備補助金　　30,000 千円

平成２５年春のワールドメイプルパーク完成後、菟田野地域の観光・物販施設、そして菟田野地域のまちづくりの拠点とするため、旧宇太小学校の保存改修事業をＮＰＯとの協働で実施します。【公園課】

②宇陀市シティマラソン開催費（実行委員会補助金）　　1,600 千円

“走ろう宇陀！ふれあうこころ”をスローガンに、宇陀の豊かな自然の中を走り、市民をはじめとする参加者の健康増進と親睦を図ります。実行委員会では広告募集など、開催経費を捻出し大会運営にあたっていただいています。【生涯学習課】

6. 改革改善プロジェクト

(1)「大宇陀道の駅」に指定管理者制度を導入しました。

民間活力を導入し、地域の活性化、雇用促進に寄与します。【商工観光課】

(2) 人事考課制度のシステム構築　1,050 千円

平成 23 年度から試行している職員の人事考課制度について、電算管理システムを構築し、職員の能力向上と行政の目標到達管理を行います。【人事課】

(3) 市立図書館の利便性向上　408 千円

平成２３年度に更新した図書館管理システムを活用し、中央公民館菟田野分館、室生分館での図書の受け取り、近鉄室生口大野駅や子育て支援センター（菟田野）に図書返却ＢＯＸを設置して、全市的な蔵書貸出システムを構築します。【市立図書館】

(4) 人権を尊重した宇陀市づくり　2,867 千円

法律、市条例、市総合計画の趣旨を踏まえ、今後の人権施策の指針として「宇陀市人権施策基本計画」を策定します。【人権推進課】

(5) 歳入面からの改革改善の取組み

①市税等の徴収率の向上　【徴収対策課】

平成２３年度は奈良県から派遣された専従チームと協働し、市県民税を中心とした差し押さえ等の滞納処分を強化しました。平成２４年度は、徴収対策指導員を設置し、市税・国民健康保険税の徴収率の向上と公平性の確保に努めます。

○徴収対策指導員設置事業　3,311 千円

②コンビニエンスストア納付システム導入　【徴収対策課・関係各課】　4,056 千円

納税者等の利便性を高めるため、休日・夜間等にも利用できるコンビニエンスストアでの納付を、２５年度からの実施をめざして準備を進めます。

③低利用、未利用状況の市有資産の売却　【管財課】

○土地売払い収入予算額　53,667 千円

○廃車公用車の売払い収入予算額　　100 千円

※１８～２３年度末（見込み）までの土地売却総額　　209,340 千円

※１８～２３年度末（見込み）までの廃車公用車の売却総額　　9,164 千円

(6)歳出面からの改革改善の取組み　　▲627,262 千円

①職員人件費の削減　　▲85,452 千円　　【人事課】

第２次宇陀市行政改革大綱実施計画等に基づき、人件費の削減を継続します。

○市長、副市長、教育長の給料カット（▲20～30％）　　▲5,952 千円

○一般職員の給料カット（▲2.5％）　　▲47,500 千円

○一般職員の管理職手当のカット（▲30％）　　▲14,000 千円

○時差出勤制度活用による時間外勤務手当の削減　　▲18,000 千円

②公債費（市債の償還金）の縮減　　▲288,898 千円　　【財政課】

平成１９年度から続けてきた市債発行額の抑制（当該年度の発行額を償還元金の１／２に抑える）の効果等により、公債費が対前年比▲７．５％縮減しました。

③経常的経費の削減　　▲252,912 千円　　【財政課】

平成２４年度当初予算の経常的経費は、141 億 64 百万円で、対前年度比▲1.8％となります。

以上